

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近くに民家が少なく、地域との交流が不十分である。グループホームがあることを周知してもらうことにより、地域の一員として生活できるようにする。	地域の人たちに認知症を理解してもらい、グループホームとはどんな施設なのかを知ってもらう。	認知症のキャラバンメイトの研修を受け、地域でのサポーター講座開催を行う。敬老会、夏祭りに利用者と一緒に参加し、交流を図る。	12か月
2	1	ユニット独自の理念と行動指針を掲げているが、実践につながっているかの評価がまだできていない。	各スタッフが考えたり年に向かってケアの質の向上に努めることができる。個人が自己の目標を持ち、仕事に対する意識が改善できる。	1年後に個人の行動指針に対する自己評価を行ってもらい、実践状況を明確化する。不十分な部分は次につなげるよう年に1度は見直ししていく。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。